

平成30年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	記憶力を有するラセン高分子の創成と究極機能の開拓
研究代表者	八島 栄次 (名古屋大学・工学研究科・教授)
研究期間	平成30年度～平成34年度
<p>科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見</p>	<p>本研究は、官能基をうまく導入した、ラセン状ポリアセチレンの高感度ラセン誘起、高効率ラセン記憶、迅速ラセン反転、高度不斉増幅など、低分子キラル化合物では見られない特徴を巧みに使って、新しいキラル分離材料、キラル触媒、キラル検出材料などの機能創出を目標としている。</p> <p>応募者が独自に開発した、極めて優れた不斉増幅能を有し、剛直性としなやかさ、ラセン空孔を合わせ持つラセン高分子の機能を最大限に活用し、生態系では実現できない究極機能の開拓を目指す研究計画であり、独創性が高い。また、応募者がキラルラセン高分子の分野で世界をリードしてきているこれまでの実績を考慮すると、実現可能性が高いものと評価できる。</p>